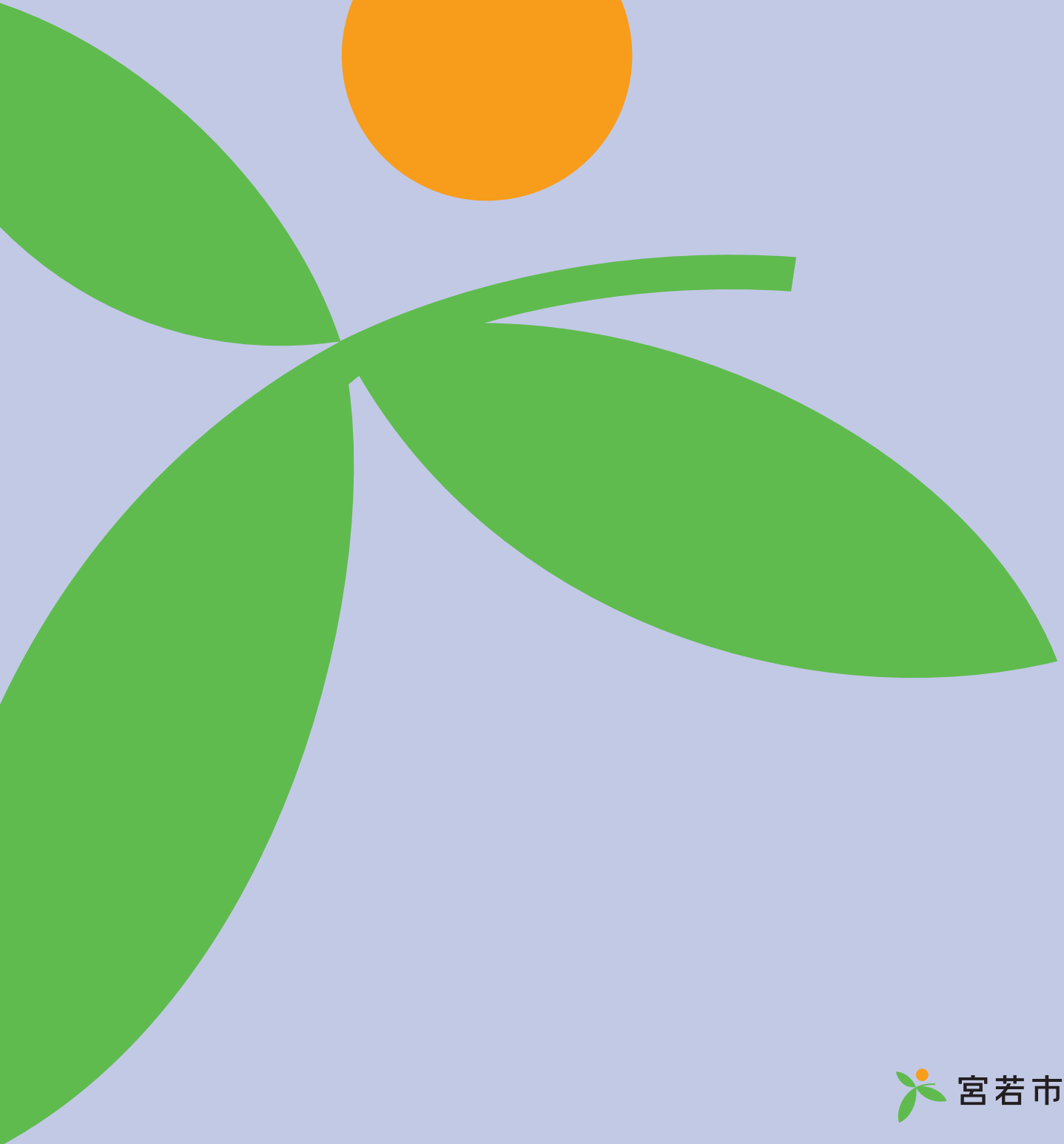
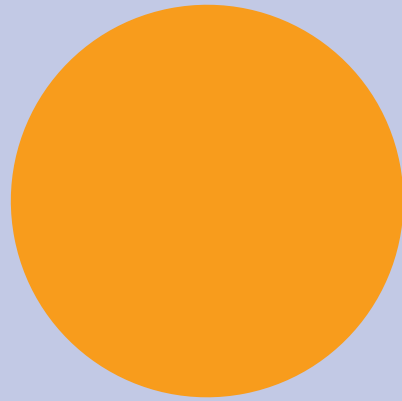


令和3年度（2021年度）  
わかりやすい決算書

---

# 宮若市マネーブック

## 主要施策の成果報告書





## ごあいさつ

宮若市では、市民参加による協働のまちづくりを推進するため、市民の皆さまにまちづくりに関する情報を積極的にお知らせし、情報の共有に努めております。そのひとつとして、決算の概要をわかりやすく説明した「宮若市マネーブック～わかりやすい決算書～」を作成しており、このたび、令和3年度分の決算内容をまとめたマネーブックが完成しました。

令和3年度一般会計においては、新型コロナウイルス感染症対策として実施した各種事業や、光陵小学校並びに農業観光振興センターの整備工事等の実施に伴い昨年度より決算額は増加しましたが、地方交付税や交付金の増収及び市債の活用などにより黒字決算となりました。

令和3年度に実施した主な事業としては、新型コロナウイルス感染症対策としてワクチン接種を5月から順次実施しました。集団接種にあたってはトヨタ自動車九州株式会社と連携し、大きな混乱もなくスムーズにワクチン接種を行うことができました。この他、長期にわたる移動の自粛等によって影響を受けた宿泊・交通事業者への支援やプレミアム付き地域振興券の発行など、地域経済の振興への取組や新型コロナウイルス感染症の影響により生活が困窮している方への相談受付・支援などの取組を実施しました。

また、宮田東小学校と宮田小学校を再編する光陵小学校の整備が昨年度完了し、4月に開校いたしました。同敷地には給食センター、子育て支援センター、学童保育所が併設され、地域の子育て・教育の拠点施設とします。この他、宮若市農業観光振興センター「みやわか郷」や宮若市文化財収蔵・展示・交流センター「宮若トレッジ」の整備工事も完了しました。特産物や観光・文化の発信の場として、宮若市の魅力を市内外に向けて広く発信していきます。

宮若市は市制施行17年目を迎え、「第2次宮若市総合計画前期基本計画」の最終年度として総仕上げをしていくとともに、令和5年度から5年間を計画期間とする「後期基本計画」の策定を進めております。誰一人取り残さない、市民目線・市民主体の観点の下、これまでに築いた都市基盤や生活基盤を礎に、宮若市の魅力を最大限に活かし、発展させ、さらに創造を重ねながら、このまちに住む皆さんが「住んでよかった」「これからも住み続けたい」と感じ、誇りを持てるような輝くふるさとづくりに向けてさらに邁進してまいりますので、今後とも皆さまのご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

令和4年9月

宮若市長  
塩川秀敏





## はじめに

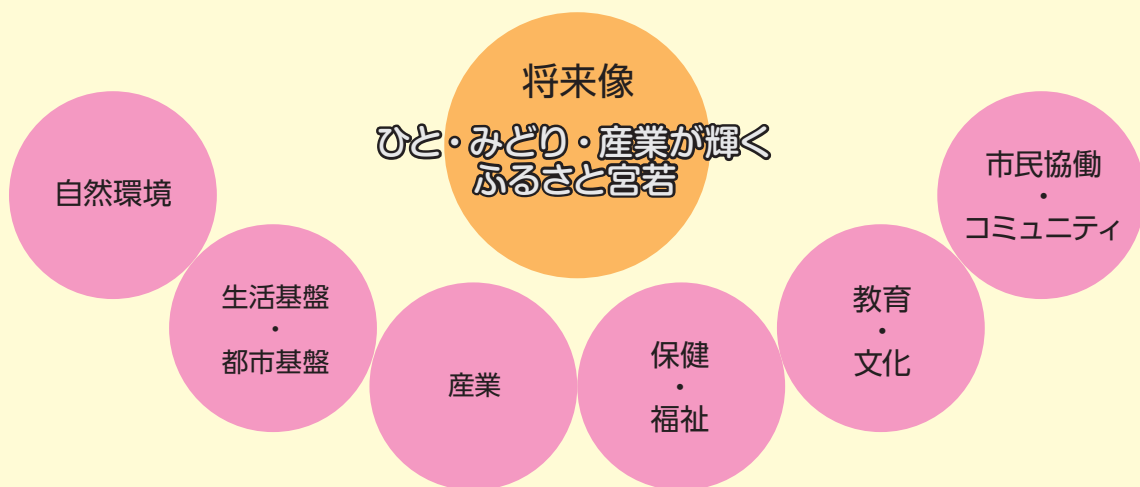
宮若市では、市民の皆さんと協働でまちづくりを行うため、市の情報を積極的に公開しており、その1つの方法として、予算書と決算書の概要版を作成し、市民の皆さんに配布しています。

このマネーブックは「第2次宮若市総合計画」で定めた6つの基本方針に基づいて構成しています。基本方針ごとに、どのような事業を行い、どれくらいのお金を使ったのかをできるだけわかりやすく紹介しています。

なお、個々の事業の内容については、直接担当課までお問い合わせください。

宮若市では「ひと・みどり・産業が輝く ふるさと宮若」を将来像としてまちづくりを行っています。この実現に向けて、6つの基本方針を定めています。

### まちづくりの基本方針



# もくじ

宮若市一般会計決算	4
グラフで見る財政状況	6
第1章 自然環境 豊かなみどりが輝くふるさとを守る、自然と共生したまちづくり	8
自然環境と地域景観の保全	
廃棄物処理とリサイクル対策の推進	
上水道の安定供給	
下水道等の整備	
治山・治水・砂防対策の充実	
第2章 生活基盤・都市基盤 安全・安心で便利な暮らしを確保する生活基盤・都市基盤づくり	9
計画的な土地利用の促進	
中心拠点の整備	
定住・住宅施策の推進	
道路・交通網・生活環境の整備	
公園・緑地の整備	
消防・防災・防犯・交通安全の充実	
第3章 産業 企業誘致と立地企業の発展を支援し、活力ある産業を育て、雇用を生み出すまちづくり	11
農林業の振興	
商業の振興	
企業誘致の推進	
観光の振興	
第4章 保健・福祉 市民が健康に暮らし、高齢者や子どもを支え合う、安心な暮らしを高める社会づくり	13
社会福祉の充実	
児童・母子福祉の充実	
高齢者福祉の充実	
障がい者福祉の充実	
健康づくりの推進	
医療の充実	
第5章 教育・文化 子どもの「生きる力」を育てる学校教育と、多彩な市民交流を生む社会教育の充実	16
学校教育の充実	
生涯学習の推進	
青少年の健全育成	
芸術文化活動の推進	
文化財の保護・継承	
第6章 市民協働・コミュニティ 市民とともに地域の課題解決に向けて取り組んでいく協働のまちづくり	18
市民参加の推進	
地域コミュニティの形成	
地域情報化の推進	
人権尊重社会の構築	
第7章 計画の推進と実現のために	19
資料 決算概要	20
ダイアルガイド	24
宮若市市民憲章・宮若市歌「輝くふるさと」	25

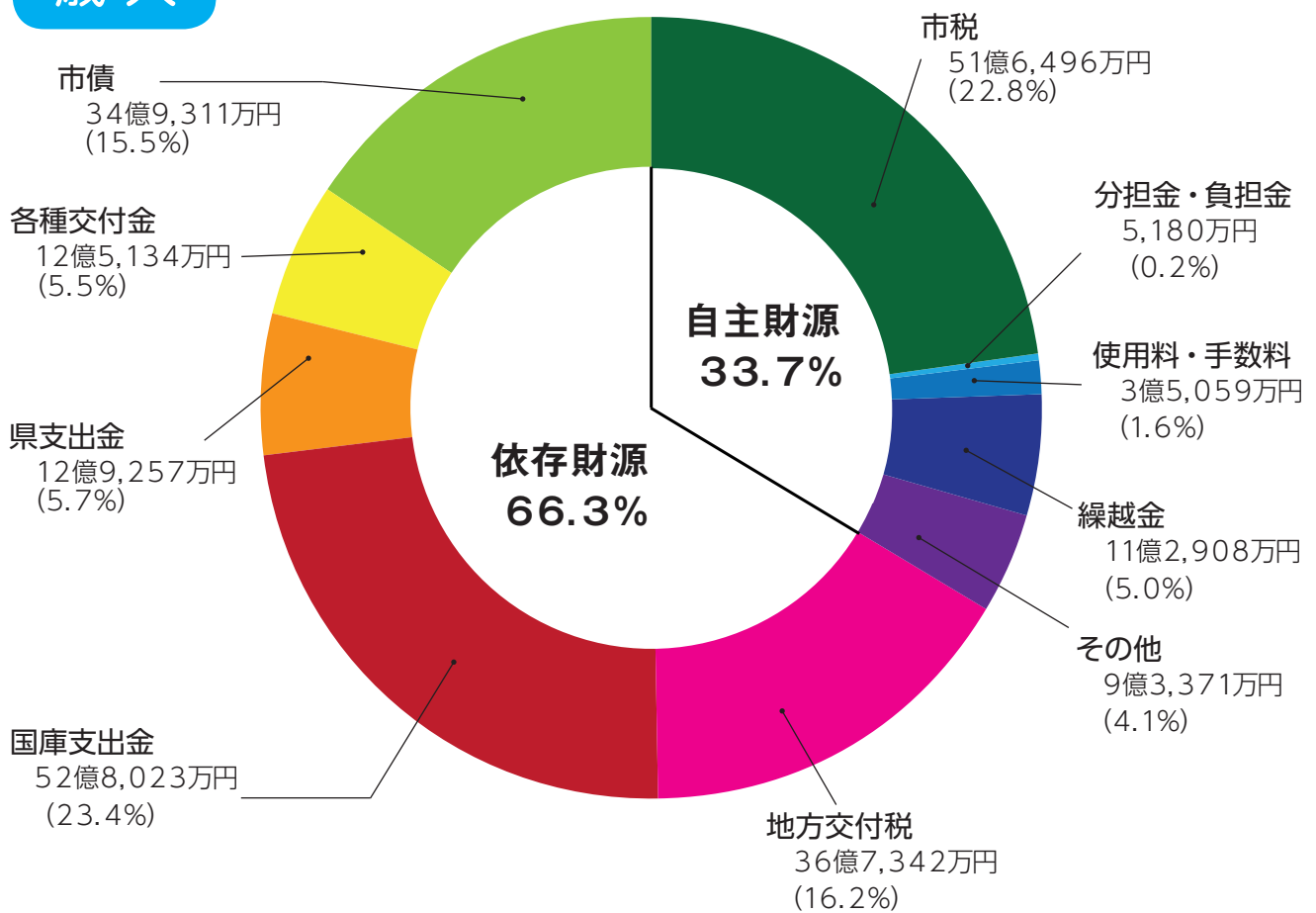
# 令和3年度 宮若市一般会計決算

歳入 226億2,081万円

歳出 212億1,236万円

差引 14億 845万円

## 歳入



### 自主財源 33.7% (前年度比 -1.6%)

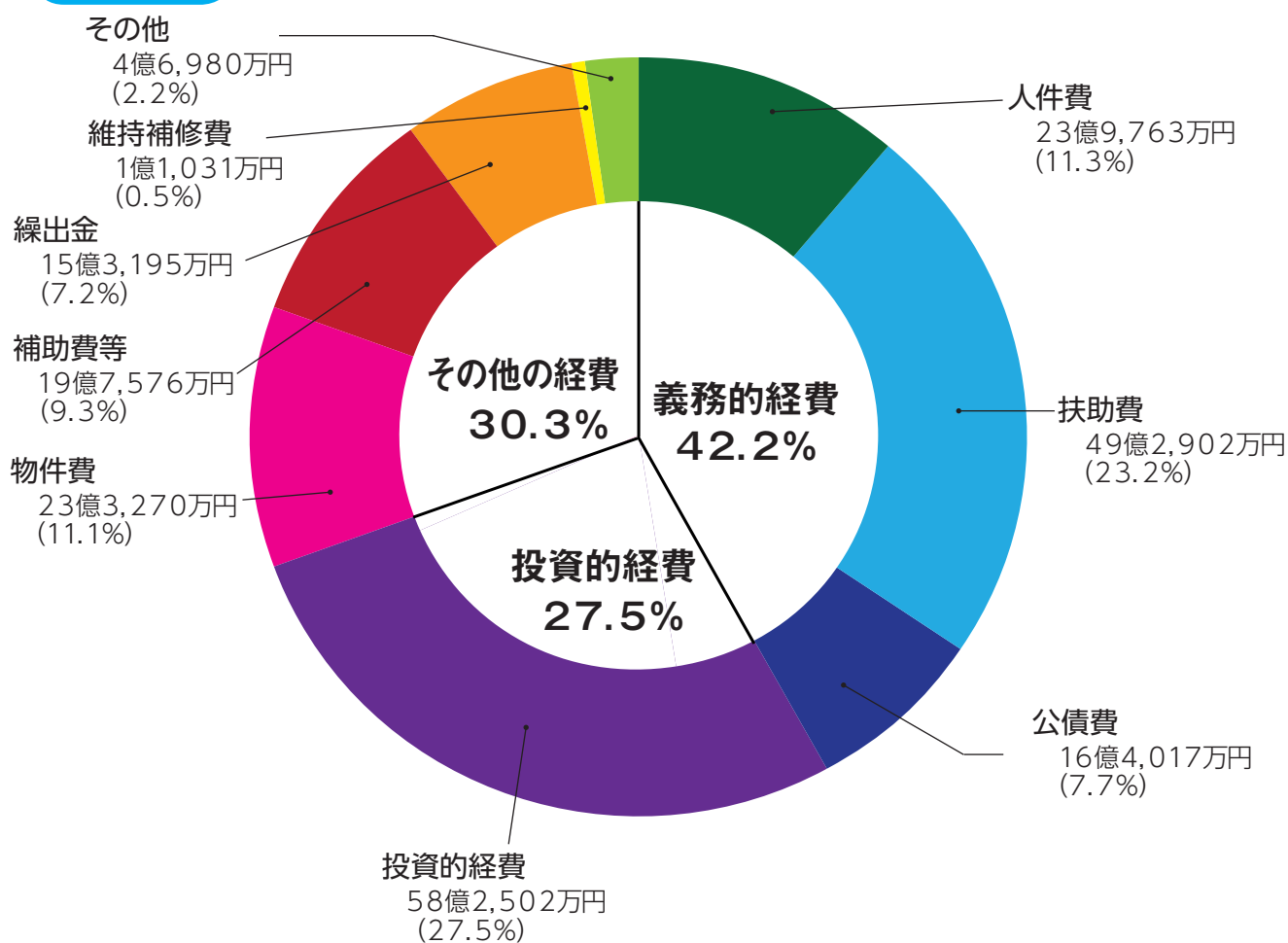
市が自主的に収入できるお金のことです。市税や負担金、使用料、繰越金などのことです。この割合が高いほど財政が安定し、自主的な事業に取り組むことができます。

新型コロナウイルス感染拡大の影響による法人市民税の減収により市税が減少しています。

### 依存財源 66.3% (前年度比 +1.6%)

国や県から交付されるお金のことです。国・県支出金、地方交付税、市債などのことです。光陵小学校などの整備により、市債が増加しています。

## 歳出



### 義務的経費 42.2% (前年度比 + 2.2%)

市職員や議員などの人件費、児童・高齢者・生活困窮者などの支援に要する扶助費、市の借金の返済である公債費のことで、この割合が高いと財政構造が硬直化し、自主的な事業が制限されます。

新型コロナウイルス感染症対策として実施した子育て世帯や住民税非課税世帯等への臨時特別給付金の支給などにより扶助費が増加しています。

### 投資的経費 27.5% (前年度比 + 11.0%)

道路や公共施設の整備、災害復旧などにかかるお金のことです。光陵小学校などの整備により増加しています。

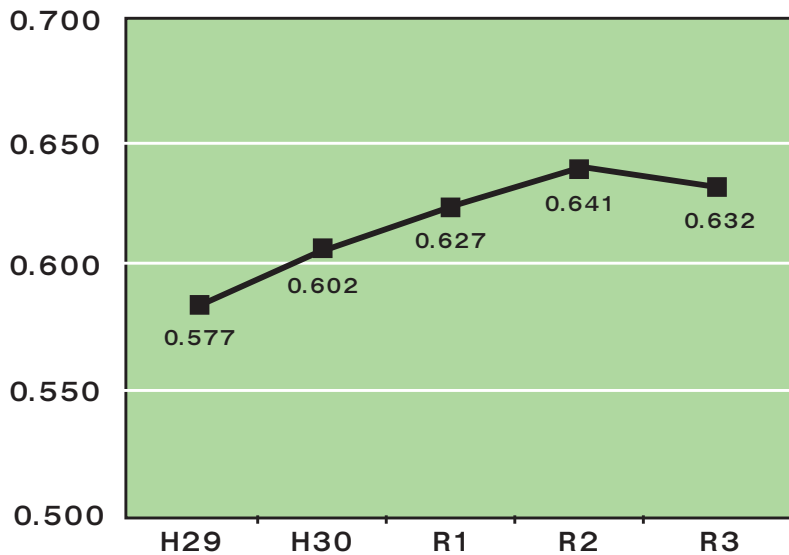
### その他の経費 30.3% (前年度比 - 13.2%)

施設の維持管理や委託料などの物件費、各種団体や消防署・介護保険広域連合などへの負担金、特別会計への繰出金などのことです。学校給食の公会計化に伴い物件費は増加しましたが、新型コロナウイルス感染症対策として実施した市民1人当たり10万円の特別定額給付金事業が終了したことにより補助費等が大きく減少しています。

# グラフで見る財政状況

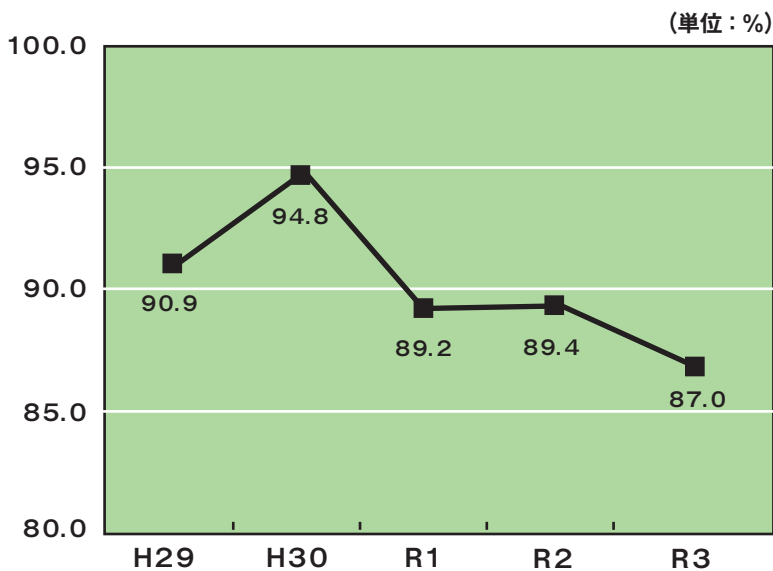
宮若市の財政指標をグラフで見てください。経年変化を追うことで市の財政が好転しているのか悪化しているのかを捉えることができます。

## 財政力指数



財政力指数は財政の自立性を測るもので、「1」に近づくほど財源に余裕があるといえます。新型コロナウイルス感染症の影響により個人住民税などが減少したため、低くなりました。

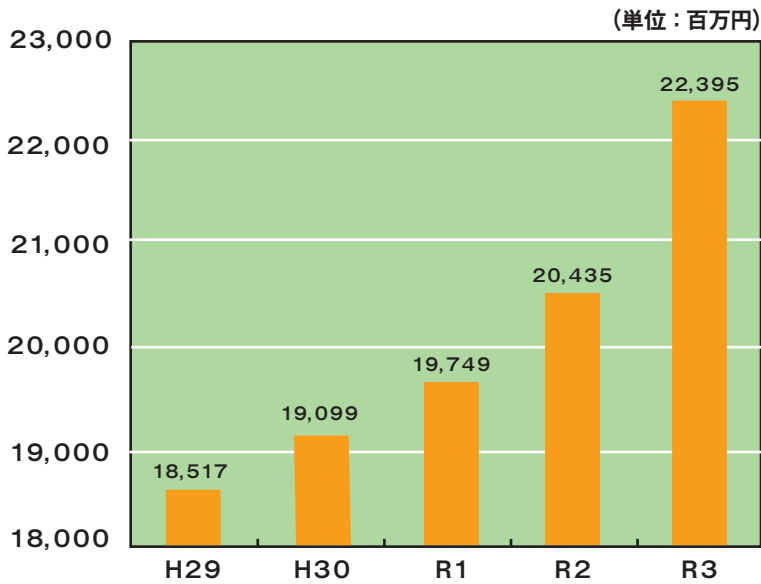
## 経常収支比率



経常収支比率は、財政構造の弾力性を表すもので、安定して収入される財源に占める固定的に支出される経費の割合です。数値が低いほど柔軟な財政運営ができるといえます。国税収入の増加に伴い普通交付税が追加交付されたため、低くなりました。

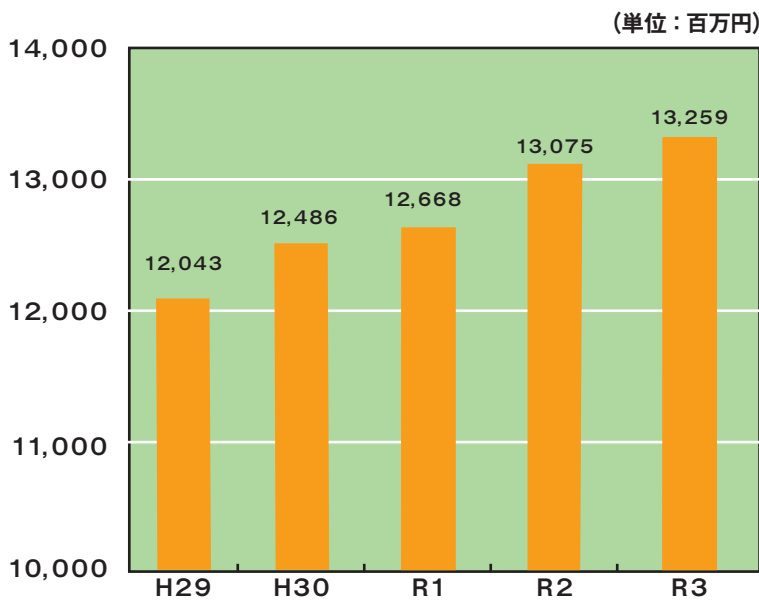


### 市債残高



市債とは市の借入金のことです。長年にわたって使用する公共施設等については、将来その施設を使う人にも平等に負担してもらう目的もあります。光陵小学校などの整備のための借り入れを行ったことにより、残高は増加しました。

### 基金残高



基金とは、市の貯金のことです。経済情勢の著しい変動等による収支の悪化に備えるための財政調整基金やその他特定の事業を行う目的で積み立てを行っている基金などがあります。施設整備等基金などへの積み立てにより増加しています。

## 第1章

## 自然環境 豊かなみどりが輝くふるさとを守る、自然と共生したまちづくり

## 自然環境と地域景観の保全

## ■ 不法投棄防止対策の推進 (環境保全課)

228 万円

財源 県：68万円 市：160万円

不法投棄防止推進委員による監視体制の強化や不法投棄防止監視カメラ、看板の設置などにより、不法投棄の防止に努めました。

また、環境クリーン作戦や遠賀川流域河川一斉清掃の実施、自治会などが実施している環境美化運動の支援を行いました。

## ■ 空家等対策事業の推進 (建築都市課)

567 万円

財源 国：281万円 市：286万円

空家等対策計画に基づき、空家化の予防や適切な管理などの啓発を行うとともに、老朽化し危険性の高い空家の解体撤去費用を補助するなど、空家等対策を進めました。

## 廃棄物処理とリサイクル対策の推進

## ■ ごみの減量化・リサイクル活動の推進

(環境保全課)

1,036 万円

財源 その他：15万円 市：1,021万円

ごみの減量化・リサイクルを推進するため、第2・4日曜日に市内2カ所で行っている資源物拠点回収を継続して実施しました。

また、ごみとして処理されている古紙などを再資源として有効活用するため、リサイクル活動登録団体へ奨励金を交付するとともに、ごみの減量化を図るため、生ごみ処理機器購入者やダンボールコンポスト購入者への補助金の交付を行いました。



## 上水道の安定供給

## ■ 上水道の安定供給 (水道課)

1億168 万円

財源 その他：309万円  
市：9,859万円 (うち市債：7,080万円)

老朽化による配水管の更新や浄水場施設の整備を行いました。また、福岡・直方線外2配水管更新工事や、浄水場の機械更新工事などを行いました。

## 下水道等の整備

## ■ 下水道等の整備 (下水道課)

6億4,637 万円

財源 国：2億4,550万円 その他：1,710万円  
市：3億8,377万円(うち市債：3億1,900万円)

福岡県が事業主体である遠賀川中流流域下水道事業の進捗状況に併せて、詳細設計や調査などを行いながら、事業認可区域内の幹線管きよや末端管きよの整備促進を図りました。

また、遠賀川中流流域下水道事業では、広域的な汚水処理対策を図るため、福岡県と関連市町が連携を図りながら整備を促進しました。



## ■ 合併浄化槽整備事業 (下水道課)

1,985 万円

財源 国：418万円 県：684万円  
市：883万円

汚水処理施設構想に基づき、公共下水道整備区域以外での浄化槽の設置を推進しました。

また、単独浄化槽や汲み取り便槽からの転換を行う方に補助を行うことで、さらなる合併浄化槽の設置促進を図りました。

## 治山・治水・砂防対策の充実

### ■ 砂防対策の充実 (土木建設課)

**5,370 万円**

財源 県：2,500万円  
市：2,870万円 (うち市債：2,730万円)

福岡県の補助事業である急傾斜地崩壊対策事業により、宮日田地区(金生)と脇田地区の整備を進めました。

### ■ 河川・水路などの環境整備

(土木建設課)

**1,357 万円**

財源 市：1,357万円 (うち市債：1,200万円)

河川の氾濫等の浸水被害を防ぐために、緊急浚渫推進事業債を活用した河川の浚渫を計画的に実施しました。

### ■ 森林環境の整備 (農政課)

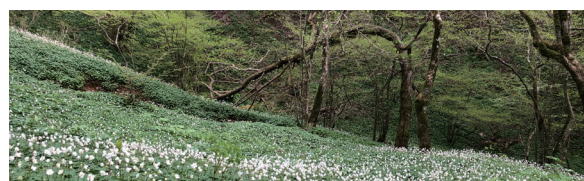
**6,567 万円**

財源 県：5,203万円 その他：1,260万円  
市：104万円

水源のかん養、土砂災害防止など森林の有する公益的機能を高めるため、荒廃森林整備に取り組みました。

また、犬鳴山系関係自治体と連携し、シカの誘引捕獲事業に補助を行うことで、森林被害を防ぐための取組を行いました。

森林環境譲与税を活用した取組として、市内の放置竹林整備を進めるとともに、市有林整備事業を行いました。



## 第2章 生活基盤・都市基盤

安全・安心で便利な暮らしを確保する  
生活基盤・都市基盤づくり

### 計画的な土地利用の促進

#### ■ 都市計画変更図書作成業務

(建築都市課)

**220 万円**

財源 市：220万円

土地利用基本方針の検討結果を踏まえ、若宮地区について、都市計画区域の拡大を図るため、都市計画変更に向けた各種検討や資料作成を行い、都市計画図書を作成しました。

#### ■ 国土調査の実施 (土地対策課)

**1億124 万円**

財源 国：4,904万円 県：2,452万円  
市：2,768万円

国土の開発、保全、利用の円滑化を図るため、令和3年度は、芹田・長井鶴及び山口地区の一部の地籍簿、地籍図の作成と長井鶴・山口地区の一部の一筆地調査、測量を行いました。地籍調査完了後は、国の承認を経て法務局の字図と登記簿が修正され、土地取引の円滑化や行政運営の効率化を図ります。

### 中心拠点の整備

#### ■ 中心拠点整備事業 (まちづくり推進課)

**3億4,650 万円**

財源 国：4,146万円 その他：9,972万円  
市：2億532万円 (うち市債：2億500万円)

継続事業の最終年度であった中心拠点の整備は、公園やプロムナード、新庁舎西側駐車場などの外構工事に取り組みました。



## 定住・住宅施策の推進

### ■ 定住促進事業の推進 (まちづくり推進課)

9,481 万円

財源 国：4,452万円 市：5,029万円

市内に住宅を取得した方に固定資産税相当額の奨励金を、市内民間賃貸住宅に居住する新婚・子育て世帯に家賃の一部を補助するとともに、これら各種施策を効果的にPRしながら定住を促進しました。

### ■ 市営住宅の保全管理 (建築都市課)

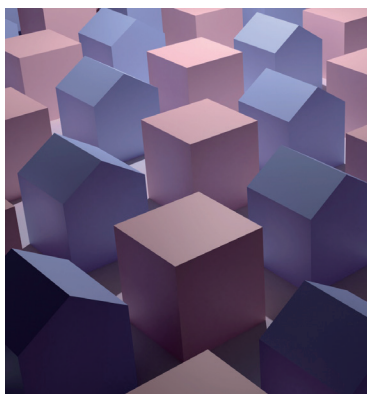
1億4,754 万円

財源 国：2,255万円 県：87万円  
その他：1億2,412万円

市営住宅長寿命化計画に基づき、安全性確保及び長寿命化を図るため、外壁改修工事を実施しました。

また、市民が快適に住み続けられることや、市民の消費を促

し地域経済の活性化を図るため、個人住宅や地区公民館を対象に住宅等改修補助金制度を継続して実施し、道路に面した危険なブロック塀等撤去費補助金制度を実施することで、安全・安心な環境整備を推進しました。



## 道路・交通網・生活環境の整備

### ■ 生活道路の整備 (土木建設課)

1億9,212 万円

財源 国：604万円  
市：1億8,608万円 (うち市債：8,580万円)

日常生活で利用する生活道路の維持に努めるとともに、経年劣化した道路の舗装整備を行い長寿命化を図りました。

また、社会資本整備総合交付金を活用することで、千田・町線外の通学路整備を進め、歩行者の安全通行の確保に努めました。

### ■ 幹線道路の整備 (土木建設課)

3億6,833 万円

財源 国：1億6,955万円  
市：1億9,878万円 (うち市債：1億3,070万円)

幹線道路・交通網の環境整備は、周辺地域と連携して舗装改修や歩道などの整備を計画的に進め、利便性や安全性・アクセスの向上に努めました。

### ■ 市民と協働した道路環境の保全

(土木建設課)

572 万円

財源 市：572万円

市民と行政の協働による良好な道路環境の保全推進を目的とした道路愛護推進活動について、積極的に周知を行うことで活動団体の増加に努めました。

### ■ 利便性の高い公共交通手段の確保

(産業観光課)

8,386 万円

財源 県：1,000万円 その他：568万円  
市：6,818万円

バス現行路線の存続を基本に、生活交通手段の確保に向け、運行の形態やルートの見直しを引き続き行うとともに、デマンド型区域運行方式の本格導入を図りました。

## 公園・緑地の整備

### ■ 協働による公園の管理・活用の推進

(まちづくり推進課・土木建設課)

1,304 万円

財源 その他：100万円 市：1,204万円

犬鳴川河川公園や2000年公園、さくら堤公園は、市民団体などとの協働による管理を行うとともに、イベントの開催などを通じて、企業、行政、学校など

による多くの方々の交流の場としての活用を推進しました。



## 消防・防災・防犯・交通安全の充実

### ■ 消防団の充実 (総務課)

**2,324 万円**

財源 市: 2,324万円 (うち市債: 2,220万円)

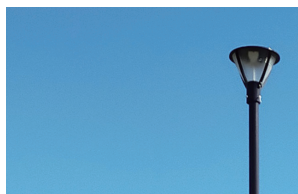
地域防災の要となる消防団については、消防団員の加入促進を図るとともに、消防設備の充実に努めました。令和3年度は、消防ポンプ自動車を1台購入しました。

### ■ 犯罪を防止する環境整備 (総務課)

**248 万円**

財源 市: 248万円

自治会などによる防犯灯の新設や老朽化などによる取替えを支援し、犯罪を防止する環境整備を進めました。



### ■ 防災意識の醸成と体制の強化 (総務課)

**970 万円**

財源 国: 437万円 市: 533万円

防災行政無線をはじめとして、緊急速報メールなどの多様な情報伝達手段を活用し、迅速で的確な情報伝達に努めました。

また、避難所運営に必要なパーテーションや食料等の防災物品を備蓄しました。

### ■ 交通安全意識の向上 (健康福祉課)

**7 万円**

財源 その他: 7万円

高齢運転者の安全運転意識の向上や交通事故の防止、被害の軽減を図るため、安全装置搭載自動車の購入または所有の自動車に安全運転支援装置を設置した方へ補助金を交付しました。

## 第3章

## 産業

企業誘致と立地企業の発展を支援し、活力ある産業を育て、雇用を生み出すまちづくり

### 農林業の振興

#### ■ 就農者の育成支援 (農政課)

**2,096 万円**

財源 県: 1,572万円 市: 524万円

水田・園芸農業の生産コスト低減、生産規模の拡大に取り組む認定農業者・営農組織に対して、農業用機械などの導入を支援しました。

また、新規就農者の経営確立を支援するとともに、営農技術の向上などに取り組む認定農業者連絡協議会の活動を支援しました。

#### ■ 有害鳥獣被害対策の推進 (農政課)

**599 万円**

財源 国: 1万円 市: 598万円

深刻化する農作物等の鳥獣被害に対応するため、駆除数の増加を図るための補助制度や猟友会などと連携した駆除活動を強化するとともに、電気牧柵などの設置・補助を行うことで、被害防除に取り組みました。

#### ■ 小規模農地などへの支援 (土木建設課)

**150 万円**

財源 市: 150万円

面積が狭小、湧水による湿田化など、耕作不利農地の条件改善のために農家が実施する対象事業を補助することで、増加する耕作放棄地の発生防止に向けた取組を推進しました。

#### ■ 農産物・特産品の販路拡大 (農政課)

**90 万円**

財源 その他: 90万円

宮若うまい米コンクールを引き続き実施するとともに、宮若オリジナル米袋を活用することで、宮若産米の効果的なPRや販路の拡大に努めました。

また、熊本県菊池市とともに九州のお米食味コンクールを菊池市で開催し、宮若米、九州米の知名度の向上を図りました。

## ■ 多面的機能支払交付金（農政課）

**3,317 万円**

財源 国：1,669万円 県：829万円 市：819万円

農業や農村は、自然環境の保全や水源のかん養、良好な景観の形成など多面的機能を有していますが、過疎化・高齢化などの進行に伴う集落機能の低下により、地域の共同活動によって支えられている多面的機能の発揮に支障が生じつつあります。

このため、地域の共同活動に支援を行うことで、農用地や水路、農道、ため池などの地域資源の適切な保全管理を推進しました。

## ■ 農業観光振興センター等整備事業

（農政課）

**7億8,443 万円**

財源 国：3億9,183万円  
市：3億9,260万円（うち地方債：3億7,370万円）

農業と観光の拠点となる施設「みやわかの郷」と体育館を改修した産地産直レストラン「グロッサリア」を整備することで、地域活性化を図りました。



## 商業の振興

### ■ 生活利便性の向上（産業観光課）

**65 万円**

財源 市：65万円

買物利便性の向上のため、車両での移動販売事業に取り組みました。

### ■ 特産品の開発・販路開拓の推進

（産業観光課）

**250 万円**

財源 市：250万円

特産品や農産物の販路開拓や宮若ブランドの確立を図るため、商業者と認定農業者などで組織する宮若じまん振興会の支援を通じて、販路拡大や普及促進を図りました。

## ■ 新規創業に対する支援（産業観光課）

**100 万円**

財源 市：100万円

地域経済の活性化と雇用の創出を図るため、事業所の開設に係る資金の一部や融資に係る利子の一部を補助することで、創業を促進しました。

## 企業誘致の推進

### ■ 企業誘致の推進（まちづくり推進課）

**1億929 万円**

財源 市：1億929万円

自動車関連企業など複数の企業が進出し、市内の工場用地が不足していることから、工場用地バンクの充実に努めました。

また、宮若北部工業用地造成事業は、福岡県と連携し、早期完成に向けて取り組むなど、引き続き、各種優遇制度を活用し、企業誘致の推進を図りました。

## 観光の振興

### ■ 資源を活かした着地型観光の推進

（産業観光課）

**424 万円**

財源 その他：424万円

市のイメージアップを図るため、特産品かつイメージキャラクターでもある追い出し猫を観光物産展などのイベントで活用し、特産品や観光資源のPRを行いました。また、Webサイト「宮若なび」や観光パンフレットなどにより市の情報発信を行いました。



### ■ 直方・鞍手広域連携プロジェクト

（秘書政策課）

**65 万円**

財源 市：65万円

直方・鞍手地域の広域連携による一体的な地域振興を図るため福岡県と直轄2市2町で取り組んでいるプロジェクトで、体験交流型プログラムや人材育成事業を通して圏域の魅力を発信しました。

## 第4章 保健・福祉

市民が健康に暮らし、高齢者や子どもを支え合う、  
安心な暮らしを高める社会づくり

### 社会福祉の充実

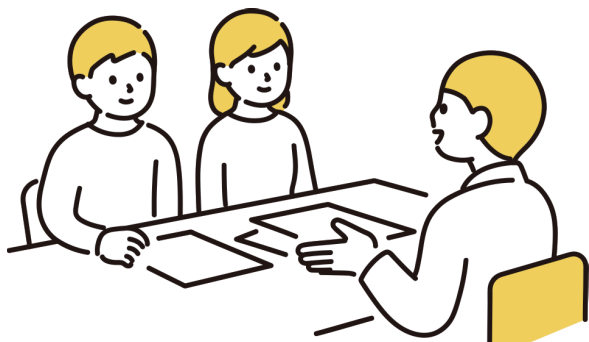
#### ■ 相談体制の充実（保護人權課）

1,981 万円

財源 国：1,557万円 市：424万円

生活保護制度に精通した面接相談員を配置し、要保護者からの生活相談に対する指導・助言や受給申請手続きなどの支援を行い、生活保護行政の適正化に努めました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、生活に困窮している方への相談体制を整え、自立に向けた包括的な支援を行いました。



#### ■ 社会福祉協議会の活動支援

（子育て福祉課）

6,165 万円

財源 市：6,165万円

宮若市社会福祉協議会が実施している地域福祉推進事業、ボランティア活動推進事業、各種相談事業、高齢者・障がい者（児）支援事業など、福祉事業活動の拡充を支援しました。

#### ■ 民生委員・児童委員の活動支援

（子育て福祉課）

187 万円

財源 市：187万円

市民の生活上の相談や高齢者・子どもの見守りなど、身近な地域福祉活動の中心的な役割を担う民生委員・児童委員の活動を積極的に支援しました。

### 児童・母子福祉の充実

#### ■ 不妊治療への支援（健康福祉課）

165 万円

財源 その他：165万円

子どもができない悩みを抱えている夫婦が子どもを持てるような環境をつくるため、不妊治療に要する治療費の一部を助成しました。



#### ■ 待機児童解消に向けた取組

（子育て福祉課）

2,205 万円

財源 県：1,150万円 その他：808万円  
市：247万円



民間保育所の保育士不足の解消を目指し、保育士への家賃補助制度や就労支援金制度により、保育士の確保を支援するとともに、保育士の負担軽減のための保育補助者の雇用に必要な経費の一部を補助しました。

また、認可保育所以外の保育施設の利用を促進するために、利用料の一部を補助しました。

#### ■ 保育サービスの実施（子育て福祉課）

6億5,500 万円

財源 国：3億2,094万円 県：1億3,280万円  
その他：2,615万円 市：1億7,511万円

保育所や認定こども園における通常・延長保育などの保育サービスを実施するとともに、幼稚園における預かり保育などの利用に係る支援を行いました。

また、保育所や認定こども園に対し、特別保育のための加配職員の雇用や、英語教育のための経費に補助を行うことで、より保育の質が高められるよう市独自の支援を行いました。さらに、新型コロナウイルス感染症対策に対する経費について補助を行いました。

## ■ 学童保育所の運営 (子育て福祉課)

7,671 万円

財源 国：2,596 万円 県：2,470 万円  
市：2,605 万円

小学校区に合わせて市内5カ所(9クラブ体制)の学童保育所を運営し、小学生がいる子育て世帯の子育て・就労支援を行いました。社会福祉協議会と連携し、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図りながら、安定的に学童保育所が開所できるように努めました。

## ■ 学童保育所・子育て支援センターの整備 (子育て福祉課)

1億4,748 万円

財源 国：2,264 万円 県：1,742 万円  
その他：206 万円  
市：1 億 536 万円 (うち市債：9,850 万円)

施設の老朽化のため、令和2年度から建替工事に着手していた宮若西学童保育所が完成し、令和3年9月に開所しました。若宮幼稚園内にあった子育て支援センター「たけんこ」も、一時預かり事業の充実のため、学童保育所に併設する形で整備しました。

また、光陵小学校の開校に併せて、光陵学童保育所及び子育て支援センター「さくらんぼ」の整備も行いました。

※光陵学童保育所及び子育て支援センター「さくらんぼ」の建設費は p.16 の学校等再編事業費に含まれます。

## ■ 子育て支援センターの充実

(子育て福祉課)

6,754 万円

財源 国：1,180 万円 県：1,130 万円  
その他：487 万円 市：3,957 万円

旧若宮小学校内の「たけんこ」と光陵小学校隣接地の「さくらんぼ」では、就労形態や疾病などにより、一時的に家庭での保育が困難となる保護者のために「一時預かり事業」を実施しました。

また、生涯学習センター内の「たんぼぼ」を含めた3カ所で、親子の交流の場となる「遊びの広場」を実施しました。さらに、待機児童対策として、「さくらんぼ」で、保育の必要性が高い児童に向けた固定枠による一時預かり事業を実施しました。

## 高齢者福祉の充実

### ■ 介護予防活動の推進 (健康福祉課)

4,263 万円

財源 その他：2,872 万円 市：1,391 万円

介護予防教室や居場所づくりなどの介護予防事業を通して、要介護状態となることなどへの予防と、要介護状態などの軽減・悪化の防止に努め、住み慣れた地域でいつまでも健康で生きがいをもって生活を送ることができるよう支援しました。



### ■ 地域包括ケア体制の確立 (健康福祉課)

5,506 万円

財源 その他：5,255 万円 市：251 万円

団塊の世代が75歳以上となる令和7年を目前に、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの充実を図るため、生活支援サービスの体制整備や在宅医療・介護連携、認知症施策、地域ケア会議の推進などに取り組みました。

### ■ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施 (健康福祉課・市民課)

933 万円

財源 その他：609 万円 市：324 万円

健診データや医療・介護のレセプト情報を活用して高齢者の健康課題を把握し、高齢者の特性に応じた保健事業と介護予防事業の一体的実施に取り組みました。



## 障がい者福祉の充実

### ■ チャレンジ雇用の実施 (総務課)

201 万円

財源 市：201 万円

障がいのある人が民間企業へ就職するための経験を積む機会として1名のチャレンジ雇用を実施しました。

### ■ 障がい福祉サービスの提供

(子育て福祉課)

11億6,077 万円

財源 国：5億6,040万円 県：2億7,768万円  
その他：216万円 市：3億2,053万円

障がいのある人が住みなれた地域で自立した生活が送れるよう、生活環境の整備や相談・支援体制の強化に努めるとともに、各種障がい福祉サービスの提供を行いました。

## 健康づくりの推進

### ■ 総合健診の実施 (健康福祉課)

2,298 万円

財源 国：18万円 県：50万円 市：2,230万円

生活習慣病の早期発見のため、健診の必要性について周知を行い、総合健診の受診率向上を図りました。

- ・健康診断
- ・歯科健診
- ・骨粗鬆症検診
- ・肝炎ウイルス検査
- ・がん検診  
(胃がん、肺がん、大腸がん、子宮がん、乳がん、前立腺がん)

### ■ 予防接種の実施 (健康福祉課)

6,632 万円

財源 国：24万円 県：13万円 市：6,595万円

感染症予防のため、予防接種法に基づく定期予防接種、高齢者肺炎球菌助成・風しん抗体検査などを実施しました。



## ■ みやわか健康ポイント事業

(健康福祉課)

196 万円

財源 市：196万円

自主的な健康づくりを支援するため、健康づくりに関する事業に参加することでポイントを獲得し、ポイント数に応じて応募者全員に記念品を贈呈しました。

## ■ 新型コロナウイルス感染症対策

(総務課・管財課・秘書政策課・保護人権課・

子育て福祉課・健康福祉課・産業観光課・農政課・学校教育課・社会教育課)

13億2,010 万円

財源 国：9億2,195万円 県：375万円  
市：3億9,440万円 (うち市債：3億7,050万円)

新型コロナウイルス感染症感染防止対策として、ワクチン接種を行い、感染及び重症化の防止に努めました。また、感染症対策備品の購入や不特定多数の利用に配慮した市内公共施設トイレの改修などを行いました。

さらに、感染症の長期化に伴う旅行や移動の自粛により影響を受けた事業者への支援や、プレミアム付地域振興券の発行など、市民や市内事業者の生活を守る事業に取り組みました。

## 医療の充実

### ■ 医療費適正化対策 (市民課)

5 万円

財源 県：2万円 市：3万円

国民健康保険財政の健全化に向けた取組の一つとして、後発医薬品(ジェネリック医薬品)の使用による医療費減額通知の送付を通じて、先発医薬品と同等であるジェネリック医薬品の使用を促進することで、医療費の適正化を図りました。



## ■ 特定健診・特定保健指導（市民課）

2,245 万円

財源 県：1,159万円 市：1,086万円

特定健診は内臓脂肪型肥満に着目した健康診査であり、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に該当する人などを対象に生活指導などを行い、生活習慣病を予防することを目的としています。

また、医療機関と連携を図り受診率の向上に努めるとともに、健診の結果が生活習慣病の予備軍や要受診者となる方を対象に、保健師・管理栄養士による受診指導、生活改善指導を実施し、疾病の発症・悪化の防止に努めました。



## 第5章

## 教育・文化

子どもの「生きる力」を育てる学校教育と、  
多彩な市民交流を生む社会教育の充実

### 学校教育の充実

#### ■ 確かな学力の育成（学校教育課）

2,410 万円

財源 県：127万円 市：2,283万円

幼稚園・小中学校が同じ目標に向かって共通の取組を推進しながら、子どもたちの生活習慣、学校教育の基盤づくりと学力の向上を目指しています。

令和3年度は新型コロナウイルス感染症感染防止対策を行いながら、子どもたちの学習支援のため、全小中学校で放課後学習「みやわかアフター・スクール」を実施しました。また、教員の資質向上のための研修会「みやわか教師塾」や、学力実態調査・体力実態調査を実施しました。

#### ■ 情報教育の推進（学校教育課）

5,696 万円

財源 国：1,175万円 市：4,521万円

国のGIGAスクール構想に伴い整備した児童生徒1人1台タブレット端末や電子黒板等のICT機器を活用した教育効果をさらに高めるため、学習支援ソフトを導入するなど、新学習指導要領に定める情報活用能力の育成に努めました。また、教職員のICT活用指導力の向上を図るため、ICT支援員やGIGAスクールサポーターを配置しました。

#### ■ 教育施設の適正配置

（学校等再編事業）（教育総務課）

28億6,598 万円

財源 国：7億2,862万円 県：3,396万円  
市：21億340万円（うち市債18億2,480万円）

宮田東小学校と宮田小学校を再編する光陵小学校は、学校給食共同調理場、学童保育所及び子育て支援センターを併設する学校施設として宮田光陵中学校跡地に令和2年度から建設工事を行い、令和4年3月に完成しました。

また、保護者代表や教職員で組織する再編準備委員会にて、校歌や校章の選定、通学路の安全点検などを行いました。



## ■ 特別支援教育の充実（学校教育課）

2,363 万円

財源 市：2,363万円

小中学校の特別支援学級に在籍している児童生徒や通常学級に在籍している発達障がいがある児童生徒など、特別な支援が必要な子どもたちに適切な教育的支援を行うために、特別支援教育支援員を配置しています。

また、特別に支援を必要とする児童生徒の就学等については、発達障がい相談支援カウンセラーによる助言や関係機関との情報交換を行い、円滑に連携することで、当該児童生徒にとって適切な教育支援を行いました。

## ■ 学校給食費公会計化及び給食費減免

（学校教育課）

1億1,745 万円

財源 国：5,235万円 その他：5,626万円  
市：884万円

給食費会計の透明化・適正化及び給食費徴収に係る教職員への業務の負担軽減を図るため、給食費の公会計化に取り組みました。

また、新型コロナウイルスに係る生活費補助の取組として給食費の一部を減免しました。

## 生涯学習の推進

### ■ 読書活動の充実（社会教育課）

1,567 万円

財源 県：10万円 その他：150万円  
市：1,407万円

ふるさと納税を活用して児童書を増やし、おはなし会・ブックスタート・家読など、児童書を活用した事業を充実させることで、幼少期の子どもの読書活動を推進しました。

## 青少年の健全育成

### ■ IT 人材育成事業（秘書政策課）

88 万円

財源 国：44万円 市：44万円

直方・鞍手地域の2市2町共同で、中・高生を対象としたプログラミング教室を実施し、実践的な情報化技術に触れる機会の提供を通して、IT 人材の育成に努めました。

## ■ 体験学習の充実（社会教育課）

73 万円

財源 市：73万円

小学生が様々な活動を体験することで、自ら学び、自ら考える力や豊かな人間性など、生きる力を育むことを目的として、「わいわいサークル」や「サマーチャレンジ」・「スプリングチャレンジ」を開催しました。

## ■ 芸術文化活動の推進（社会教育課）

167 万円

財源 市：167万円

新型コロナウイルス感染症対策により、文化祭のステージの部では事前撮影した映像を当日上映する等、事業内容を工夫しながら市民文化祭やコンサートなどを開催し、市民が芸術文化に触れる機会の提供に努め、芸術文化活動の活性化を図りました。



## 文化財の保護・継承

### ■ 文化財の整備・保存の推進

（社会教育課）

1億8,347 万円

財源 市：1億8,347万円（うち市債：1億6,250万円）

若宮西小学校跡地を再生・活用し、文化財の収蔵・展示と地域の活動拠点機能を併せ持つ、宮若市文化財収蔵・展示・交流センター（宮若トレッジ）の整備に取り組みました。

また、国指定史跡である竹原古墳の保存整備工事が完成したことを記念したシンポジウムは新型コロナウイルス感染症の影響により中止しましたが、保存観察施設は感染対策をとりながら開館し、歴史文化への興味関心の向上に努めました。



## 市民参加の推進

## ■ 広報・広聴活動の充実 (秘書政策課)

1,779 万円

財源 県：51万円 その他：111万円  
市：1,617万円

市の魅力を市内外に向けて広く発信し、認知度を高めていくため、主要施策や地域情報について、広報紙や市公式ホームページ、公式インスタグラムをはじめとしたSNSなど様々な媒体を活用した多角的で効果的な情報発信を行ったほか、SNSを活用したフォトコンテストを行い、市民参加の促進や市内各地域の認知度向上を図りました。

## ■ 産官学連携による文化芸術振興

(秘書政策課)

100 万円

財源 その他：100万円

株式会社トライアルホールディングスとの「リモートワークタウンムスブ宮若」プロジェクト連携協定に基づき、宮若市・トライアル・九州大学の産官学連携による文化芸術振興の取組「宮若国際芸術トリエンナーレ」を開催し、市の魅力向上及び交流人口の増加へ向けたPR・情報発信等を行いました。



## ■ 市民参加機会の確保 (秘書政策課)

135 万円

財源 その他：100万円 市：35万円

公募による10名の市民で構成する第6期まちづくり委員会で、商品のブランディングやマーケティングの方法について学びながら、市民目線での特産品の開発に向けた取組を行いました。



## 地域コミュニティの形成

## ■ コミュニティ活動の活性化

(まちづくり推進課)

39 万円

財源 市：39万円

職員の地域担当制度について、コロナ禍のため、市内2ブロックで地域と職員が協働した事業を実施しました。

## ■ 笠松地区の地域コミュニティ拠点施設の整備 (社会教育課)

449 万円

財源 市：449万円

笠松地区の地域コミュニティ拠点施設である笠松研修センターについて、施設の各所で不具合が生じているため、施設の長寿命化の観点から総点検を行い、住民参加型による整備に向けた基本計画を策定しました。

## 地域情報化の推進

## ■ 地域情報化の推進 (総務課)

6,165 万円

財源 国：3,963万円  
市：2,202万円 (うち市債：1,740万円)

通信事業者と協力し、市内全域で市民が光ファイバー回線を利用した超高速インターネットサービスを楽しむ環境を整備し、地域情報化の推進に努めました。

## 人権尊重社会の構築

## ■ 人権教育・啓発の推進

(社会教育課・保護人権課)

27 万円

財源 県：3万円 市：24万円

令和2年度に実施したアンケート結果に基づき、第2次宮若市人権教育・啓発基本計画を策定したほか、市内小学生を対象にした「人権の花運動」など各種取組を実施しました。

## 第7章

# 計画の推進と実現のために

### ■ 輝くふるさと応援寄附金制度の推進

(財政課)

**8,751 万円**

財源 その他：6,578万円 市：2,173万円

輝くふるさと応援寄附金については、独自の地場産品、及び県の認定する特産品を随時返礼品に追加し、寄附サイトの掲載内容を充実しながら、安定的な歳入確保、地場産業育成による地域活性化、シティプロモーションの推進を図りました。



### ■ 固定資産（土地）評価の価格修正に伴う標準宅地時点修正業務

(税務収納課)

**137 万円**

財源 市：137万円

地価の下落を次年度の固定資産評価額に反映させるため、7月1日時点における標準宅地の時点修正率を鑑定評価により求め、市内全域の宅地等について価格修正を行いました。

### ■ 地番現況図などの更新 (税務収納課)

**1,183 万円**

財源 市：1,183万円

課税対象物件の的確な把握による適正な課税を図るため、地番現況図や公図の通年異動更新を行い、令和6年度評価替えに向けて土地評価見直し業務を行いました。

### ■ 第2次宮若市総合計画後期基本計画の策定準備 (秘書政策課)

**270 万円**

財源 市：270万円

第2次宮若市総合計画は、宮若市が目指すまちづくりの指針を示した10年間のマスタープランで、実施すべき施策や事業を示した基本計画を前期と後期の5年間に分けて策定しています。

令和4年度の後期基本計画の策定に向けて、令和3年度は市民意識調査などを実施しました。

### ■ 新国富指標調査分析事業 (秘書政策課)

**130 万円**

財源 その他：130万円

第2次宮若市総合計画の推進にあたり、九州大学都市研究センターで研究されている「新国富指標」（長期的に持続可能な発展を計測するために開発された経済指標）を活用することで、持続可能な発展を目指したまちづくりを進めました。



### ■ 収納率の向上及び滞納対策の強化

(税務収納課)

**66 万円**

財源 市：66万円

ファイナンシャルプランナーによる家計改善指導などに取り組み、収納率の向上を図りました。

## 資料. 決算概要

### 一般会計

歳入総額	226億2,081万円
歳出総額	212億1,236万円
差引残額	14億 845万円

### 歳入

款	決算額
1 市税	51億6,496万円
2 地方譲与税	1億7,465万円
3 利子割交付金	140万円
4 配当割交付金	1,407万円
5 株式等譲渡所得割交付金	1,641万円
6 法人事業税交付金	1億3,927万円
7 地方消費税交付金	7億2,852万円
8 ゴルフ場利用税交付金	5,056万円
9 環境性能割交付金	2,041万円
10 国有提供施設等所在市町村助成交付金	136万円
11 地方特例交付金	9,924万円
12 地方交付税	36億7,342万円
13 交通安全対策特別交付金	545万円
14 分担金及び負担金	5,180万円
15 使用料及び手数料	3億5,059万円
16 国庫支出金	52億8,023万円
17 県支出金	12億9,257万円
18 財産収入	9,021万円
19 寄附金	2億1,834万円
20 繰入金	2億6,671万円
21 繰越金	11億2,908万円
22 諸収入	3億5,845万円
23 市債	34億9,311万円

### 歳出

#### 目的別

款	決算額
1 議会費	1億5,083万円
2 総務費	24億2,732万円
3 民生費	74億3,269万円
4 衛生費	11億6,692万円
6 農林水産業費	14億1,993万円
7 商工費	4億22万円
8 土木費	15億6,086万円
9 消防費	5億173万円
10 教育費	44億7,499万円
11 災害復旧費	3,670万円
12 公債費	16億4,017万円

#### 性質別

区分	決算額
人件費	23億9,763万円
扶助費	49億2,902万円
公債費	16億4,017万円
物件費	23億3,270万円
維持補修費	1億1,031万円
補助費等	19億7,576万円
繰出金	15億3,195万円
積立金	4億4,980万円
投資及び出資金・貸付金	2,000万円
投資の経費	58億2,502万円

## 国民健康保険特別会計

歳入総額	34億9,226万円
歳出総額	34億2,054万円
差引残額	7,172万円

### 歳入

款	決算額
1 国民健康保険税	5億2,243万円
2 使用料及び手数料	42万円
5 国庫支出金	81万円
6 県支出金	25億311万円
10 繰入金	4億5,373万円
12 諸収入	1,176万円

### 歳出

款	決算額
1 総務費	4,836万円
2 保険給付費	22億9,877万円
3 国民健康保険事業費納付金	7億4,732万円
4 共同事業拠出金	1万円
6 保健事業費	2,304万円
9 諸支出金	7,567万円
11 繰上充用金	2億2,737万円

## 後期高齢者医療特別会計

歳入総額	4億4,858万円
歳出総額	4億3,560万円
差引残額	1,298万円

### 歳入

款	決算額
1 後期高齢者医療保険料	3億359万円
2 使用料及び手数料	5万円
3 繰入金	1億3,569万円
4 繰越金	833万円
5 諸収入	92万円

### 歳出

款	決算額
1 総務費	550万円
2 後期高齢者医療広域連合納付金	4億2,934万円
3 諸支出金	26万円
4 保健事業費	50万円

## 吉川財産区特別会計

歳入総額	145万円
歳出総額	134万円
差引残額	11万円

### 歳入

款	決算額
1 財産収入	4万円
2 繰入金	130万円
3 繰越金	11万円

### 歳出

款	決算額
1 総務費	59万円
2 財産費	75万円

## 水道事業会計

### (1) 収益的収入及び支出

収入		5億1,720万円
区分	決算額	
給水収益	4億1,881万円	
受託工事収益	485万円	
その他の営業収益	29万円	
負担金	1,677万円	
他会計補助金	12万円	
水道加入金	825万円	
長期前受金戻入	6,465万円	
雑収益	346万円	

支出		4億5,361万円
区分	決算額	
原水及び浄水費	9,834万円	
配水及び給水費	6,865万円	
受託工事費	484万円	
総係費	4,850万円	
減価償却費	1億9,162万円	
支払利息及び企業債取扱諸費	2,450万円	
消費税及び地方消費税	1,669万円	
特別損失	47万円	

### (2) 資本的収入及び支出

収入		7,389万円
区分	決算額	
企業債	7,080万円	
負担金	309万円	

支出		2億3,654万円
区分	決算額	
建設改良費	1億197万円	
固定資産購入費	731万円	
企業債償還金	1億2,726万円	

## 簡易水道事業会計

### (1) 収益的収入及び支出

収入		1億1,145万円
款	決算額	
給水収益	4,951万円	
受託工事収益	94万円	
その他の営業収益	11万円	
負担金	739万円	
他会計補助金	1,897万円	
水道加入金	488万円	
長期前受金戻入	2,965万円	

支出		1億579万円
款	決算額	
原水及び浄水費	1,437万円	
配水及び給水費	515万円	
受託工事費	94万円	
総係費	2,545万円	
減価償却費	5,148万円	
支払利息及び企業債取扱諸費	682万円	
消費税及び地方消費税	149万円	
特別損失	9万円	



## (2) 資本的収入及び支出

収入		2,846万円
区分	決算額	
他会計補助金	2,846万円	

支出		5,204万円
区分	決算額	
建設改良費	309万円	
固定資産購入費	258万円	
企業債償還金	4,637万円	

# 下水道事業会計

## (1) 収益的収入及び支出

収入		3億8,480万円
区分	決算額	
下水道使用料	5,271万円	
雨水処理負担金	547万円	
その他の営業収益	20万円	
他会計負担金	1億3,350万円	
他会計補助金	6,050万円	
長期前受金戻入	1億1,170万円	
消費税還付金	2,044万円	
雑収益	1万円	
特別利益	27万円	

支出		3億6,370万円
区分	決算額	
管渠費	170万円	
ポンプ場費	424万円	
業務費	85万円	
総係費	3,665万円	
流域下水道維持管理負担金	7,536万円	
減価償却費	2億120万円	
支払利息及び企業債取扱諸費	4,370万円	

## (2) 資本的収入及び支出

収入		7億1,613万円
区分	決算額	
企業債	3億1,900万円	
国庫補助金	2億4,550万円	
負担金及び分担金	1,710万円	
他会計負担金	2,785万円	
他会計補助金	1億668万円	

支出		7億7,854万円
区分	決算額	
建設改良費	6億4,637万円	
企業債償還金	1億3,217万円	

# 宮若市役所 ダイヤルガイド

事業の内容の詳細などは、お気軽にこちらまでおたずね下さい。

本庁舎 TEL 0949-32-0510 (代) FAX 0949-32-9430

課名	係名	業務内容	電話番号
総務課	総務係	議案、条例・規則等の制定改廃、文書管理、情報公開、個人情報保護など	32-0511
	人事係	職員の人事、給与、研修、福利厚生、衛生管理、安全管理、組織管理など	
	防災安全係	消防、防災、防犯、交通安全など	32-1072
情報政策係	電算システムの開発管理、セキュリティ対策、ICTの利活用など		
管財課	財産管理係	市有財産管理、庁舎管理など	32-0761
	契約検査係	契約、請負業者の指名・入札など	
市民課	市民係	転入転出等、住民票、戸籍、印鑑登録、選挙管理委員会など	32-0514
	国保年金係	国民健康保険、国民年金、後期高齢者医療、公費医療など	32-4004
税務収納課	市民税係	市県民税、国民健康保険税、軽自動車税の賦課など	32-0513
	資産税係	土地・家屋・償却資産の評価、固定資産税の賦課など	32-1008
	納税管理係	市税・国民健康保険税の徴収・滞納対策、市税等諸証明の交付など	
秘書政策課	秘書広報係	市長・副市長秘書、広報、シティプロモーション、ホームページ、表彰など	32-0512
	政策推進係	総合計画、総合戦略、広域行政、人材育成、国際交流など	
財政課	財政係	予算編成、執行管理、財政計画、地方交付税、市債など	32-0590
	財務経営係	行財政改革、ふるさと納税、行政基本資料の収集など	
まちづくり推進課	地域振興係	定住促進、自治会、犬鳴川河川公園・2000年公園管理など	32-0773
	企業誘致推進係	企業誘致など	
子育て福祉課	地域福祉係	民生・児童委員、社会福祉協議会、地域福祉計画など	32-0562
	子育て支援係	児童手当、児童扶養手当、家庭児童相談、保育所、学童保育など	32-0517
	障がい者福祉係	障がい者(児)福祉など	32-0541
健康福祉課	健康対策係	健康づくり、各種保健事業、予防接種、母子健康手帳交付、精神保健など	32-1177
	高齢者福祉係	高齢者福祉、介護保険、戦傷病者遺族等援護、高齢化対策など	32-0515
	地域包括支援センター	介護予防ケアマネジメント、高齢者の総合相談支援など	33-3456
保護人権課	事務係	生活保護に関する事務など	32-9377
	保護係	生活保護に関することなど	
	人権福祉係	人権・同和対策、男女共同参画、隣保館など	32-0765
環境保全課	環境衛生係	じん芥施設、衛生施設に関すること、犬の登録など	32-0516
	環境対策係	環境基本計画、火葬場、不法投棄対策など	
産業観光課	商工振興係	商工業の振興、消費生活、雇用促進など	32-0519
	観光推進係	観光振興、いこいの里千石、観光資源の保全・活用など	
農政課	農林対策係	林業経営の改善、林業生産の基盤整備、有害鳥獣駆除、荒廃森林対策など	32-0518
	農業振興係	農業経営の改善、地域農政推進、認定農業者、農業共済など	
土地対策課	用地係	用地取得、登記、市道の認定、道路台帳、占用使用許可、屋外広告物など	32-0569
	県道整備対策係	県道の整備に関することなど	
	国土調査係	地籍測量、地籍図作成、地籍簿作成など	32-0566
建築都市課	建築都市係	都市計画、建築協定、緑化対策、市営住宅の維持管理、空き家対策など	32-0955
	住宅管理係	市営住宅の入退去、特定鉱害復旧等申出事務、住宅改修助成など	
土木建設課	維持係	道路、河川、下水道維持管理、土木災害復旧、交通安全施設など	32-0799
	建設係	土木施設の新設改良工事など	
	農業土木係	農業用施設等の維持管理、土地改良、災害復旧、林地崩壊防止事業など	
下水道課	下水道係	下水道工事施工管理、設計、事業計画など	32-3159
	管理係	下水道資産管理、使用料、浄化槽設置助成など	
会計課	会計係	各種料金の支払い窓口、公金経理、資金管理など	32-3323
	業務係	水道料金に関することなど	32-1005
	給水係	水道の給水など	
水道課	浄水係	浄水場の維持管理など	
教育総務課	教育総務係	幼稚園・小中学校の維持管理、スクールバスの運行、教育財産の管理など	32-1007
	学校給食係	学校給食、学校給食施設の維持管理など	34-5525
学校教育課	学校教育係	児童・生徒就学、奨学金、通学区域、学級編制、教育支援センターなど	32-1007
	指導係	授業づくりに関すること、生徒指導に関すること、教職員の人材育成など	32-9292
社会教育課	公民館・スポーツ振興係	公民館・スポーツ施設の管理運営、社会体育、学校体育施設開放など	32-0123
	社会教育・文化推進係	図書館、青少年の健全育成、生涯学習、文化財、文化振興など	32-3210
議会事務局	議会係	市議会に関することなど	32-1135
農業委員会	農業委員会事務局	農地等の利用関係、農地法、農業者年金など	32-3553
監査事務局	監査事務局	監査委員・公平委員会に関することなど	32-1004

若宮総合支所 TEL 0949-52-1111 (代) FAX 0949-52-3119

課名	係名	業務内容	電話番号
市民窓口課	市民窓口係	転入転出、住民票、戸籍、税の収納証明、国民健康保険、国民年金、児童・母子福祉、ごみ、し尿など	52-1111

## 宮若市民憲章

## 宮若市歌「輝くふるさと」

私たちの宮若市は、緑輝く自然や誇りある歴史を先人より受け継いできたまちです。

このまちを愛する私たちは、将来の夢や希望を実現できる「輝くふるさと」を目指し、ここに市民憲章を定めます。

- 一 みどり豊かな自然を愛し、美しいまちをつくりまします。
- 一 歴史と伝統に学び、文化の薫り高いまちをめざします。
- 一 互いに助けあい、やすらぎのあるまちをめざします。
- 一 活力に満ちた産業を育み、働きやすいまちをつくりまします。
- 一 ふるさとを愛し、誇れるまちをつくりまします。

安らげる人がいる 癒される緑がある

そして輝く 歴史がある

宮若市温かいふるさと

宮若市輝くふるさと

さあここへお出でよ

共に輝く未来を築こうよ

風が優しさを連れてくる

水が命を授けてくれる

人は思いやりに溢れ 街は喜びに包まれる

そんな街だよ 大好きな街だよ

君と一緒に見つめたい 歴史と夢と未来を

安らげる人がいる 癒される緑がある

そして輝く 歴史がある

宮若市温かいふるさと

宮若市輝くふるさと

さあここへお出でよ

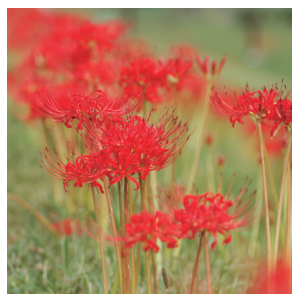
共に輝く未来を築こうよ

輝くふるさとを築こうよ



市章

「み」の文字をモチーフに、市民が明るく輝き、飛躍している様子を表しています。



市の花・彼岸花

どんな天候でも花を咲かせ、堅実な歩みを目指す宮若市を表しています。



市の木・桜

河川敷や公園などに植えられ、市民の皆さんに親しまれています。



宮若市役所 秘書政策課 政策推進係

〒823-0011 福岡県宮若市宮田29番地1

TEL 0949 (32) 0512

FAX 0949 (32) 9430

URL <https://www.city.miyawaka.lg.jp/>

E-mail [seisaku@city.miyawaka.lg.jp](mailto:seisaku@city.miyawaka.lg.jp)